

姫路科学館友の会 **あとむ**

姫路科学館友の会会報 第190号〈2024年4月〉(友の会事務局発行)

🍎 2024年度の会員さまへ

姫路科学館友の会にご入会くださり、誠にありがとうございます。当会では、前年度の監査、理事会、総会と、全て順調に終了し、無事、新年度をスタートすることができました。今年度も安定した運営を目標に歩んで参りたいと思いますので、何卒どうぞ宜しくお願いいたします。

現在、特別展示室にて「企画展 むし・ムシ大集合」を開催中です。皆さまのご来館、楽しみにお待ちしております。

(友の会会長 上田倫範)

🌸 花の歳時記 「タケノコ」(イネ科)

春先、竹(イネ科)の地下茎から出てくる若い芽を筍(たけのこ)と呼び、食用にします。地上に顔を出す直前に見つけ、掘り取ったものほど、柔らかくて美味しいです。「姿は京都の山城、味は太市」と言われるほど、太市の朝掘りのタケノコは有名です。モウソウチク、マダケ、ハチクのタケノコはタケノコの代表格です。

タケノコがそのまま成長し稈(竹の皮)が脱落したものをタケ、成長しても竹の皮が落ちずに長く稈を包んでいるものをササといいます。



(友の会理事 古角孝之)

🌸 館長の科学館だより 姫路科学館近況 令和6年5月

平素は姫路科学館の教育普及活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

年度早々から、多くの団体予約の電話が鳴り、今年の盛況を伺わせる幸先良いスタートになり嬉しく思っております。昨年は11月末からプラネタリウム更新のため、年内休止してご迷惑お掛けしましたが、投影画像が以前よりすっきりとなりました。

今年度スタッフに新しく自然史専門員を一人任用しました。収蔵庫に保管している、無数のはく製や標本を分類して、一日も早く皆さんに公開出来ればと思っています。

今後も企画展、特別展、各種講座等、精力的に展開していきますので、会員の皆さまのご協力を賜りながら、科学館活動がより発展するよう、スタッフ一同頑張りますので、よろしく願いいたします。

(友の会常任理事 姫路科学館館長 中川吉郎)

- 【目次】 🍎 [P1] 会長挨拶(友の会会長 上田倫範)、花の歳時記(友の会理事 古角孝之)、館長の科学館だより(友の会常任理事 姫路科学館館長 中川吉郎) 🍎 [P2] ヤマガラ通信(西播愛鳥会・日本野鳥の会会員、元姫路科学館専門員 森田俊司) 🍎 [P3] 地球と生命の歴史(姫路科学館 学芸・普及担当課長補佐 徳重哲哉)、「科学の足あと」シリーズ(元姫路科学館 吉岡克己) 🍎 [P4] 南阿蘇からのお便り(南阿蘇ルナ天文台 福澄孝博) 🍎 [P5] Starry Night Story(姫路科学館 中島輝久) 🍎 [P6] 科学のタネ(姫路科学館 学芸員 松本万尋)、よしだ君の話(姫路科学館の新しい自然史専門員 吉田航希)